

犀川左岸流域下水道（汚泥共同処理施設）の平成22年度管理状況

施設所管課	環境部水環境創造課
指定管理者	金沢市公営企業管理者 代表者 古田 秀一
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

（1）管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務（仕様書、事業計画）の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	該当なし
利用の促進に関する業務	該当なし
使用の許可に関する業務	該当なし
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設の運転管理業務 ・下水道法、大気汚染防止法等関係法令及び業務計画書に基づき適正に行われている ・汚泥焼却実績及びばい煙測定結果等が適正に報告されており基準値を満たしている。
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・金沢市地域防災計画及び金沢市企業局下水道浸水対策実施要領に基づき、災害時の対応・体制が整備されている。

（2）施設の利用状況

①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

該当なし

②使用許可等の状況

該当なし

（3）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

該当なし

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	332,399	人件費	7,886
石川県負担	78,074	光熱水費	73,746
金沢市負担	254,325	修繕費	95,155
		運転監視等委託料	80,504
		排水処理費	28,121
		埋立処分費	22,096
		薬品費	10,408
		その他	14,483
合計	332,399	合計	332,399
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

特になし

②事故、故障等

特になし

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。		該当業務なし
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・業務執行計画書に基づき適切な管理が行われている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。 ・金沢市防災計画及び金沢市企業局下水道浸水対策実施要領に基づき適切に行われている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も専門的なノウハウを活かした管理を期待する。

○評価基準

A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている

B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している

C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある

D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

A（優）：適正であり、優れた実績をあげている

B（良）：適正である

C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する

D（不可）：改善が必要である

（7）助言・指摘事項

特になし